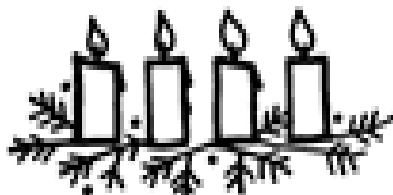


降臨節 夕の礼拝と黙想



	第一日課	詩編 (※p.10 以下)	第二日 課	聖歌
降臨 1 11月 29日	創世記 3:8-15	24 29	ルカ 1:26-38	368 66
降臨 2 12月 6日	創世記 22:15-19	25	ルカ 2:1-7	347 85
降臨 3 12月 13日	イザヤ 9:1,5-6	33	ルカ 2:8-17	64 92
降臨 4 12月 20日	イザヤ 11:1-3a,4a-6,9	27 34	マタイ 2:1-12	88 94

2020

聖アンデレ教会

降臨節 夕の礼拝と黙想

毎日聖書を朗読し、詩編を歌って神をほめたたえ、祈りを献げて日々の生活を神と人のために清めることは、初代教会からの営みであった。わたしたちも「朝の礼拝」「夕の礼拝」によってこの営みに加わるのである。

式の始めと終わりに聖歌を用いてもよい。

せい ご * 聖 語

一同立つ。

せいしょ ことば き れいはい はじ
司式者 聖書のみ言葉を聞いて、礼拝を始めましょう

ここで司式者は、聖語（祈祷書 46 ページ以下）を教会暦に応じて、または自由に選んで言う。聖書の中のほかの聖句を用いてもよい。

ざんげ ゆる いの * 懺悔と赦しの祈り

かみ まえ みずか かえり つみ ゆる
司式者 神のみ前にひざまずいて、自らを省み、ともに罪の赦
いの
しを祈りましょう

ここで一同ひざまずく。

共同懺悔（17 ページ／祈祷書 295 ページ）を用いるときは、ここです。
しばらく自らを省みたのち、一同で唱える。

あわ ふか ちち かみ
憐れみ深い父なる神よ、わたしたちは、してはならないことをし、しなければな
らないことをせず、おも ことば おこな おお つみ おか
らなことをせず、思いと、言葉と、行いによって、多くの罪を犯しています。
つみぶか ゆる あたら いのち あゆ ところ したが
どうか罪深いわたしたちをお赦してください。新しい命に歩み、み心に従
さか あらわ すく ぬし
い、み栄えを現すことができますように、救い主イエス・キリストによってお
ねが
願いいたします アーメン

一同立ち、次の唱和を歌いまたは唱える。

司式者 ^{しゅ} 主よ、わたしたちの口を開いてください

会衆 ^{しゅ ほま あらわ} わたしたちは、主の誉れを現します (詩 51:15)

司式者 ^{えいこう ちち こ せいれい} 栄光は、父と子と聖霊に

会衆 ^{はじ いま よよ かぎ} 初めのように、今も、世々に限りなく アーメン

司式者 ^{しゅ} 主をほめたたえましょう

会衆 ^{しゅ な} 主のみ名をたたえます

詩 編

ここで定められた詩編を歌いまたは唱える。一編終わるごとに栄光の歌をともに歌いまたは唱える。

第1日課 (旧約聖書または旧約聖書続編)

朗読の前に「——(書)第——章——節から」と言い、朗読後「第1日課を終わります」と言う。次に司式者は「今聞いたみ言葉について黙想しましょう」と言って黙想の時をおいてもよい。

続いて一同立ち、マリヤの賛歌を歌いまたは唱える。

この歌の前に、その日にふさわしい聖歌を用いてもよい。

聖歌

マリヤの賛歌 (ルカ 1:46-55)

1 ^{たましい しゅ} わたしの魂は主をあがめ // ^{れい すく ぬし} わたしの霊は救い主である

^{かみ よろこ} 神を喜びたたえる

2 ^{かみ まず おんな め と} 神はこの貧しい女にも // 目を留められた

- 3 今から後いつの世の人も // わたしを 幸いな女と呼ぶ
いま のち よ ひと さいわ おんな よ
- 4 力ある方が // わたしに偉大なみ業をなさったから
ちから なた いだい わざ
- 5 主のみ名は聖 // その憐れみは世々、主を敬い畏れる人に
しゅ な せい あわ よよ しゅ うやま おそ ひと
- 6 主はみ腕の力を振るい // 思い上がる者を打ち散らし
しゅ うで ちから ふ おも あ もの う ち
- 7 権力を振るう者をその座から下ろし // 身分の低い人を引き上げ
けんりよく ふ もの ざ お みぶん ひく ひと ひ あ
- 8 飢えた人を良い物で満たし // 富んでいる人をむなしく追い返される
う ひと よ もの み と ひと お かえ
- 9 神は父祖アブラハムとその子孫に // 永遠に約束されたように
かみ ふ そ しそん えいえん やくそく
- 10 憐れみを忘れず // 僕イスラエルを助けられた
あわ わす しもべ たす
- 栄光は // 父と子と聖霊に
えいこう ちち こ せいれい
- 初めのように、今も // 世々に限りなく アーメン
はじ いま よよ かぎ

だい につか しんやくせいしょ
第2日課 (新約聖書)

朗読の前後は、第1日課のときにならう。

次に一同立ち、シメオンの賛歌または詩編第67編を歌いまたは唱える。

さんか
シメオンの賛歌 (ルカ 2:29-32)

- 1 主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり // 僕を安らかに去ら
しゅ いま ことば しもべ やす さ
- せてくださる
- 2 わたしはこの目で // 主の救いを見た
め しゅ すく み
- 3 これは主が // 万民のために備えられた救い
しゅ ばんみん そな すく
- 4 すべての人を照らす光 // み民イスラエルの栄光
ひと てら ひかり たみ えいこう

えいこう ちち こ せいれい
栄光は// 父と子と聖霊に

はじ いま よよ かぎ
初めのように、今も// 世々に限りなく アーメン

しへん
詩編 第67編 (1-3)

- かみ めぐ しゆく かお ひかり て
1 神よ、わたしたちを恵み 祝し// み顔の 光 を照らしてください
- みち せかい し すく くに し
2 あなたの道が世界に知られ// 救いがすべての国に知られるように
- かみ しょこく たみ たみ
3 神よ、諸国の民があなたをたたえ// すべての民があなたをたたえるように
- えいこう ちち こ せいれい
栄光は// 父と子と聖霊に
- はじ いま よよ かぎ
初めのように、今も// 世々に限りなく アーメン

***メッセージと黙想**

一同立って、使徒信経を歌いまたは唱える。

し と しん きょう
使 徒 信 経

てんち つく ぬし ぜんのう ちち かみ しん
わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

ひと ご しゆ しん しゆ せいれい
また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によ

やど う くる う
って宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、

じゅうじか し ほうむ くだ みつかめ しにん
十字架につけられ、死んで 葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみ

てん のぼ ぜんのう ちち かみ みぎ ざ
がえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。

しゆ い ひと し ひと さば こ
そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、^{せいれい しん}聖霊を信じます。^{せい こうかい せいと まじ}聖なる公会、^{つみ ゆる からだ}聖徒の交わり、^{えいえん いのち しん}罪の赦し、^{からだ}体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

いの
祈 り

一同ひざまずく。以下、特祷までを歌いまたは唱える。

司式者 ^{しゅ あわ あた}主よ、^{あわ あた}憐れみをお与えください

会衆 ^{あわ あた}キリストよ、^{あわ あた}憐れみをお与えください

司式者 ^{しゅ あわ あた}主よ、^{あわ あた}憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

^{てん}天におられるわたしたちの父よ、^{ちち}

^{な せい}み名が聖とされますように。

^{くに}み国がきますように。

^{てん おこな}みこころが天に ^{ち おこな}行われるとおり地にも ^{ち おこな}行われますように。

^{ひ かて きょう あた}わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

^{つみ}わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも ^{ひと}人をゆるします。

^{ゆうわく}わたしたちを誘惑におちいらせず、

^{あく すく}悪からお救いください。

^{こく ちから えいこう えいえん}国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

ここで司式者は立つ。

司式者 しゅ しゅ いつく しめ
主よ、主の慈しみを示し

会衆 しゅ すく あた
主の救いをお与えください (詩 85:7)

司式者 しゅ つか びと ぎ
主の仕え人に義をまとわせ

会衆 しゅ せいと よろこ うた
主の聖徒に喜び歌わせてください (詩 132:9)

司式者 しゅ たみ すく
主の民を救い

会衆 しゅ こ しゅくふく
主の子らを祝福してください (詩 28:9)

司式者 しゅ へいわ いま よ あた
主の平和を今の世に与え

会衆 ち は たたか
地の果てまで、戦いをやめさせてください (詩 46:9)

司式者 しゅ みち ち し
主の道をあまねく地に知らせ

会衆 しゅ すく くに し
主の救いをすべての国に知らせてください (詩 67:2)

司式者 しゅ きよ こころ つく
主よ、わたしたちのうちに清い心を造り

会衆 せいれい ささ
聖霊によって支えてください (詩 51:10, 12)

司式者 しゅ みな
主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

司式者 いの
祈りましょう

とく とう
特 禱

ここで当日の特禱を用いる。祝日でない金曜日、土曜日には、当日の特禱に代えて聖金曜日（受苦日）、聖土曜日の特禱を用いてもよい。続いて次の二つの特禱を用いる。

へいあん

平安のため

すべての聖なる望み、良い思い、正しい業のもとである神よ、この世の与え得
ない平安をわたしたちにお与えください。わたしたちがみ 心 にすべてをゆだね、
み 力 によりあだを恐れず、安らかに日々を過ごすことができますように、救い
ぬし
主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。アーメン

まも

み守りのため

み守りのための祈りに代えて次の導きのための祈りを用いてもよい。

ひかり みなもと 光の源 である主よ、この世の闇を照らし、豊かな憐れみをもってわたした
ちを守り、今夜の危険をことごとく防いでください。独りのみ子、救い主イエ
ス・キリストの 慈しみにによってお願いいたします。アーメン

みちび

導きのため

天の父よ、わたしたちは主のうちに生き、動き、また存在するものです。どう
か聖霊によって 導き、わたしたちが日々の 営みのうちに主を覚え、常にみ栄
えを 現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたしま
す。アーメン

ここで司式者はひざまずき、次の祈り、またはそのときにふさわしい祈禱、感謝（祈禱書 106 ページ以下）または嘆願（10 ページ／祈禱書 98 ページ以下）を用いるとよい。

司式者は、「黙禱しましょう」と言って、黙禱の時をおいてもよい。

降臨節の代祷

<代祷A> ※第1・第3主日に用います。

主の呼びかけに応え、いつも目を覚ましていきましょう。
私たちの創造主であり贖い主である神の前に、喜びをもって立つことができるように、神様の力づけを祈りましょう。

正義の源である神が、その慈しみに満ちた支配をもたらせてくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

平和の源である神が、すべての国々のうちに主にある公正と公平を実現してくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

命の源である神が、わたしたちが御言葉の内にキリストを探し求め、パンが裂かれることの中にキリストと出会う恵みを与えてくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

すべての癒しの源である神が、孤独な者の友となり、病のうちにある者を強め、すべて倒れた者たちを主と共に起き上がらせてくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

すべての光の源である神が、闇の中に生きるすべての人たち、死の影に生きる者たちを照らし導いてくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

すべての愛の源である神が、私たちをすべての重荷から解き放ち、主の御もとに安らぐすべての聖徒とともにおらせ、世の光として輝かせてくださいますように。

(沈黙)

主よ、お聞きください。

主よ、慈しみをおあたえください。

父なる神の慈しみにわたしたち自身とここに祈るすべての人を委ねます。

全能の神よ、あなたの祝福された御子は、失われた者を探し、救うためにこの世に来られました。私たちのもとにキリストが再び来られ、その贖いの業を完成させていただきますように。主は父と聖霊と共に一体であって、世々に生き、支配しておられます。

アーメン

<代祷B>※第2・第4主日に用います。

わたしたちを助けるため、救い主イエス・キリストが来てくださいます。その喜びと希望のうちに共に祈りましょう。

世の裁き主である主よ、あなたの教会においでください。

主にあるすべての民が、主の到来による光の中で生きることができるよう。そして主の支配を待ちわびることができるよう。

(沈黙)

主よ、おいでください。

アーメン。主イエスよ、来てください。

すべての国々の支配者である主よ、あなたの世界においでください。

すべての人が主の御名をほめたたえますように。世の支配者たちはあなたの前に沈黙し、立ち尽くすでしょう。

(沈黙)

主よ、おいでください。

アーメン。主イエスよ、来てください。

救い主、慰め主である主よ、苦しみの中にある人々のもとにおいでください。

病と苦しみにもがく私たちを解放し、喜びをもって永遠にあなたに仕えさせてくださいますように。

(沈黙)

主よ、おいでください。

アーメン。主イエスよ、来てください。

良き牧者、魂の守り主である主よ、私たちのもとにおいでください。

悪と死に打ち勝つあなたの救いの御業を、知恵と力と勇気をもって成し続けた主の証人たちと共に分かち合えますように。

(沈黙)

主よ、おいでください。
アーメン。主イエスよ、来てください。

主なるキリストよ、大いなる栄光と力と権威をもって天からおいでください。私たちが天に上げられ、あなたと出会うことができますように。わたしたちが覚える逝去者、すべての聖徒、天使たちと共に、新しい創造の中で、あなたと共に生き、御心を行うことができますように。

(沈黙)

主よ、おいでください。
アーメン。主イエスよ、来てください。

アーメン、主イエスよ、来てください。あなたの民に新たな勇気を与え、あなたへの愛と信仰を深めてください。あなたの到来によって、御心が天に行われるとおり、地にも行われ、主にある喜びを分かち合うことができるようにしてください。主は父と聖霊と共に一体であって世々に生き支配しておられます。

アーメン

終わりに次のように言う。

しゅ めぐ かみ あい せいれい まじ
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。アーメン (Ⅱコリント 13:13)

聖歌

<詩編>

詩編 24

- 1 地とそこにあるもの // 世界とそこに住むものは主のもの
ち せかい す しゅ
- 2 神は海に地の基を据え // 水の上に固められた
かみ うみ ち もと す みず うえ かた
- 3 主の山に登る者はだれ // 聖所に立つ者はだれか
しゅ やま のぼ るもの せいじよ た もの
- 4 それは手に汚れなく、心の清い人 // むなしいことに心に向けず、偽りを口にしない者
て けが ころ きよ ひと ころ む いつわ ぐち
もの
い者
- 5 その人は主に祝福され // 救いの恵みを受ける
ひと しゅ しゅくふく すく めぐ う
- 6 これは神を求める者のやから // ヤコブの神のみ顔を慕う
かみ もと もの かみ かお した
- 7 門よ、扉を開け、永遠の戸よ、上がれ // 栄光の王が入られる
もん とびら ひら えいえん と あ えいこう おう はい
- 8 栄光の王とはだれか // 勝利を得られる力ある主
えいこう おう しょうり え ちから しゅ
- 9 門よ、扉を開け、永遠の戸よ、上がれ // 栄光の王が入られる
もん とびら ひら えいえん と あ えいこう おう はい
- 10 栄光の王とはだれか // 万軍の主こそ栄光の王
えいこう おう ばんぐん しゅ えいこう おう

詩編 25

- 1 主よ、心を込めてあなたを仰ぐ // わたしの神よ、わたしはあなたに寄り頼む
しゅ ころ こ あお かみ よ たの
- 2 わたしが恥を受けることなく // 刃向かう者が勝ち誇ることがないように
はじ う ことなく はむ もの か ほこ
- 3 あなたを叫び求める者は恥を受けず // あなたに背く者は恥を受ける
さけ もと もの はじ う そむ もの はじ う
- 4 主よ、あなたの道を示し // その道筋を教えてください
しゅ みち しめ みちすじ おし
- 5 真理のうちにわたしを教え導いてください // あなたはわたしの救い、いつの日も、
しんり おし みちび すく ひ
わたしはあなたを待ち望む
ま のぞ
- 6 主よ、あなたの憐れみと慈しみを思い出してください // それは昔から変わらないもの
しゅ あわ いつく おも だ むかし か
- 7 若いときの罪と過ちに心を留めず // 慈しみ深くわたしを思い出してください
わか つみ あやま ころ と いつく ふか おも だ
- 8 主は憐れみ深く正しい方 // 罪人に道を示される
しゅ あわ ふか ただ つみびと みち しめ
- 9 神は貧しい人を正義に導き // へりくだる人にその道を授けられる
かみ まず ひと せいぎ みちび ひと みち さず
- 10 契約と諭しを守る人に // 主の道筋は慈しみとまことに溢れる
けいやく さと まも ひと しゅ みちすじ いつく あふ
- 11 主よ、わたしの罪は大きい // み名によってお赦してください
しゅ つみ おお な ゆる
- 12 主を畏れる者とはだれか // 主はその人に選ぶべき道を示される
しゅ おそ もの しゅ ひと えら みち しめ

- 13 その心は恵みで満たされ // 子孫は地を譲りうける
- 14 神を畏れる人に主は心を開き // 契約を示し、諭される
- 15 わたしの目は絶えず主を仰ぐ // 神はわたしをわなから救ってくださる
- 16 神よ、わたしを顧み、慈しんでください // わたしはただ独り苦しんでいます
- 17 わたしの悩みをやわらげ // 苦悩の淵から救ってください
- 18 あえぎ苦しむわたしを顧み // すべての罪を赦してください
- 19 わたしの敵はおびただしく // 憎しみに燃えている
- 20 わたしの命を守り、わたしを救ってください // あなたに寄り頼むわたしが、恥を受けることがないように
- 21 とがなく正しく生きるように守ってください // わたしはあなたを待ち望む
- 22 神よ、イスラエルを贖い // すべての苦悩から救ってください

詩編 27

- 1 主はわたしの光、わたしの救い、わたしはだれをも恐れぬ // 主はわたしの命の
 砦、わたしはだれをはばかり
- 2 わたしの肉を食い尽くそうと悪を行う者が襲いかかっても // わたしの敵はつまずき
 倒れる
- 3 たとえ軍勢がわたしに向かって陣を敷いても // わたしの心は恐れぬ
- 4 たとえ戦いを挑んできても、戦いが間近に迫ってきても // わたしは信頼してひるむ
 ことがない
- 5 わたしは主に一つのことを願い求める // 生涯、主の家を住まいとし
- 6 主の麗しさを仰ぎ見て // 主の宮で思うことを
- 7 悩みの日に神はわたしを幕屋のうちに潜ませ // 天幕の隠れ場にかくまい、岩の上に
 立たせてくださる
- 8 わたしを囲む敵の上に // 神はわたしの頭を高く挙げてくださる
- 9 喜びに溢れて幕屋でいけにえを献げ // 主をたたえて歌おう
- 10 主よ、わたしが呼ぶとき、わたしの声に聞き // わたしを憐れみこたえてください
- 11 わたしの心は言う、「神の顔を求めよ」 // 神よ、あなたの顔をわたしは慕い求めます

詩編 29

- 1 神の子らよ、主をほめよ // 栄えと力は主のもの
 2 神の名をほめたたえよ // 聖なる装いをもって主を拝め
 3 主の声は水の上に // 主は大水の上に雷鳴をとどろかせる
 4 主の声には力があり // その響きには威厳がある
 5 主の声は杉の木を撃ち // 主はレバノンの杉を引き裂く
 6 神の声はレバノンを子牛のように // シリオンを野牛のように踊らせる
 7 主の声は稲妻を放ち // 荒れ野を震わせ、カデシの荒れ野をおびえさせる
 8 主の声はかしの木をねじり倒し、森の木々を裸にする // すべてのものは神の住まい
 でその栄光をたたえる
 9 主は大水の上に座り // 主はどこしえに王座に着かれる
 10 主はその民に力を与え // 平和をもって祝福される

詩編 33

- 1 正しい人よ、主にあつて喜び歌え // 神をたたえることは心の正しい人の業
 2 豎琴を奏でて主をたたえ // 琴の調べで神をほめよ
 3 新しい歌を神にうたい // 琴の音に合わせて喜びの声を上げよ
 4 主のみ言葉は正しく // そのみ業には偽りがない
 5 神は正義と公平を愛し // 主の慈しみは地に満ちている
 6 天は主のみ言葉によって造られ // 星座はその息によって据えられた
 7 神は海の水をせき止め // 水は深い淵となる
 8 世界は主の前におののき // 地上の民は主を恐れよ
 9 神のみ言葉によってすべてが造られ // 神の仰せによってすべては成った
 10 主は諸国の謀りごとをむなしくし // 諸国の民の企てをくじかれる
 11 主の謀りごとはどこしえに // み心の思いは世々に及ぶ
 12 主を神として頂く国 // 神のものとして選ばれた民は幸せ
 13 主は天から目を注ぎ // 人びとをすべてご覧になる
 14 神はそのみ住まいから // 地に住むすべての人に目を注がれる

- 15 神は一人ひとりの心^{かみ ひとり}を造り^{こころ つく}// その業^{わざ}を見抜^{みぬ}かれる
- 16 王は多くの軍勢^{おう おお ぐんぜい}によって救^{すく}われるのではなく// 勇士^{ゆうし}も力^{ちから}によって助^{たす}けられるのではない
- 17 馬は救いの力^{うま すく ちから}にならず// 大軍^{たいぐん}も人の助^{ひと たす}けにはならない
- 18 主の目は神を畏^{しゅ め かみ おそ}れる人^{ひと}の上に^{うへ}// 神の愛^{かみ あい}に希望^{きぼう}を置^おく人^{ひと}の上に^{うへ}注^{そそ}がれる
- 19 神は彼らの魂^{かみ かれ たましい}を死^しから救^{すく}い// 飢え^うから彼ら^{かれ}を助^{たす}けられる
- 20 わたしたちの魂^{たましい}は主^{しゅ}を待^まち望^{のぞ}む// 神はわたしたちの盾^{かみ}、また救^{たて すく}い
- 21 心^{こころ}は神^{かみ}のうちに喜^{よろこ}び// 尊^{とうと}いみ名^なに寄^より頼^{たの}む
- 22 主よ、慈^{しゅ}しみをわたしたちの上^{うへ}に// あなたに希望^{きぼう}を置^おく者^{もの}に与^{あた}えてください

詩編 34

- 1 わたしは常^{つね}に主^{しゅ}をたたえ// 絶^たえず賛美^{さんび}を口^{くち}にする
- 2 わたしの心^{こころ}は主^{しゅ}をたたえ// 貧^{まず}しい人もそれ^{ひと}を聞^きいて喜^{よろこ}ぶ
- 3 心^{こころ}を合^あわせて主^{しゅ}をあがめ// とともにみ名^なをたたえよう
- 4 わたしが主^{しゅ}を求めると、神^{かみ}はこたえられ// すべて^{おそ}の恐^{たす}れから助^{たす}けてくださった
- 5 神^{かみ}を仰^{あお}げば人^{ひと}の顔^{かお}は輝^{かがや}き// 恥^{はじ}を受ける^うことはない
- 6 苦^{くる}しむ者^{もの}が主^{しゅ}に叫^{なげ}ぶと、神^{かみ}は聞^きき// 悩^{なや}みの中^{なか}から救^{すく}い出^だしてくださった
- 7 神^{かみ}を畏^{おそ}れる人^{ひと}の周^{まわ}りには、主^{しゅ}のみ使^{つか}いは陣^{じん}を敷^しき// 彼ら^{かれ}を助^{たす}け出^だしてくださる
- 8 主^{しゅ}が恵^{めぐ}みに満^みちておられることを味^{あじ}わい知^しれ// 神^{かみ}に寄^より頼^{たの}む人^{ひと}は幸^{しあわ}せ
- 9 主^{しゅ}の聖^{せい}徒^とたちよ、主^{しゅ}を畏^{おそ}れよ// 神^{かみ}を畏^{おそ}れる人^{ひと}には乏^{とぼ}しいことがない
- 10 おごり暮^くらす者^{もの}は乏^{とぼ}しくなり// 主^{しゅ}を求め^{もと}る人^{ひと}は良^よいもので満^みたされる
- 11 民^{たみ}よ、来^きてわたしに尋^{たず}ねよ// 主^{しゅ}を畏^{おそ}れることを教^{おし}えよう
- 12 命^{いのち}を慕^{した}い求め^{もと}る者^{もの}// 幸^{しあわ}せな生^{しょう}涯^{がい}を送^{おく}ろうとする者^{もの}はだれか
- 13 舌^{した}を制^{せい}して悪^{あく}を語^{かた}らず// 偽^{いつわ}るために口^{くち}を開^{ひら}くな
- 14 悪^{あく}を離^{はな}れて良^よい業^{わざ}をなし// 心^{こころ}から平^{へい}和^わを追^おい求め^{もと}めよ
- 15 主^{しゅ}の注^{そそ}がれる目^めは正^{ただ}しい人^{ひと}の上^{うへ}に// 神^{かみ}は彼ら^{かれ}の叫^{さけ}びを聞^きかれる
- 16 主^{しゅ}のみ顔^{かお}は悪^{あく}を行^{おこな}う者^{もの}に向^むけられ// 彼ら^{かれ}の名^なは地^ちから消^けされる
- 17 主^{しゅ}は正^{ただ}しい人^{ひと}の叫^{さけ}びを聞^きき// 悩^{なや}みの中^{なか}から救^{すく}ってくださる

- 18 主は悲しみ嘆く者の近くにおられ // 失意の人を支えられる
19 正しい人は悩みが多い // しかし主はすべての悩みから助け出される
20 神は彼らの骨をことごとく守り // その一つさえ砕かれることはない
21 正しい人を憎む者は罪に定められ // 悪人は悪で身を滅ぼす
22 主は神に仕える人を贖い // 主に寄り頼む者を滅びから救われる